意思疎通こそ相互理解の要

三建だより

発行・編集
一般社団法人 三島建設業協会
広報委員会
三島市玉川２５０の２
電話〈055〉975-0332
ホームページ http://www.misimakenkyo.jp
発行日　毎月１日

入札契約段階と工事施工段階の課題等について意見交換

沼津土木と技術懇談会

三島建設業協会（小野徹会長）の三島・田方地区役員と土木・災害対策委員会（土屋龍太郎副会長兼委員長）は９月18日、三建大会議室で静岡県沼津土木事務所と技術懇談会を開催した。

当日は協会から小野会長、佐野茂樹副会長、土屋副会長、青木喜代司相談役理事をはじめ三島・田方地区役員12人、沼津土木事務所から原広司所長、望月康史次長、織原政幸技監、大島新一技監兼下水道課長、戸栗一泰技監兼修善寺支所長ほか幹部職員５人、三島市から都市基盤部の青木利憲技監、管財課の杉山慎太郎課長、伊豆の国市から建設課の守野充義課長、財務課の山田孝室長、伊豆市から建設部建設課の大村俊之課長、契約検査室の勝呂信哉室長、函南町から建設課の西川公次課長、管財課の露木元徳課長が出席した。

冒頭、小野会長は、参加していただいた各行政機関の幹部に感謝した後、９月８日～９日未明にかけて、伊豆半島の東海岸沖・相模湾を北上し強風で各地に爪痕を残した台風15号に触れ、伊豆でも、早くからあちこちで「避難準備情報」が出て、建設業協会としても、いつ出動要請が出るか緊張しっぱなしだった。

幸い、降水量はそれほどでもなく、河川氾濫等も発生しなかったが「狩野川放水路」が開いたということで、もう少し台風の進路が伊豆に近ければ、危機一髪だったのかもしれないと語った。

また、平常時から、常に緊張をもって課題に対処していく。そのために今日の技術懇談会があるものと承知しているとし、本日のテーマは、①「入札契約段階の課題、経営力向上」②「工事施工段階の課題、技術力向上」③「モチベーションの維持、立場の違いを乗り越えるには相互理解が不可欠」④その他となっている。

今年の６月に「品確法」を始めとする「新・担い手３法」が成立し、「発注関係事務の運用に関する指針（運用指針）」を、さらに充実したものにするため、「改革骨子案」が示され、各地方自治体は勿論のこと、全建・全中建等の建設業協会からも９月13日までに意見を集約せよということで、提出したところである。

現行の「運用指針」は、初めて「発注者責任」が明記された画期的なものであったが、今回の骨子案には、①災害時の緊急対応強化②働き方改革③ＩＣＴの推進等による生産性向上への取組④調査・設計の品質確保等に関する規定が盛り込まれた。

特に、①全国的に災害が頻発する中、災害から迅速かつ円滑な復旧・復興のため、災害時の緊急対応の充実強化が追加されたこと②公共工事の品質確保のため、公共工事に加え、公共工事に関する測量、調査、及び設計が対象として追加されたことが大きな特徴となっている。

さらに「指針の位置づけ」に続き、「発注関係事務の適切な実施のために取り組むべき事項」では、以前には想像もできなかった「発注者が取り組むべき事項」がしっかりと明記されている。「改正骨子案」には、この後、それぞれの詳細が書き連ねられているが、「よくぞ、ここまで書いてくれた」と感心するばかりである。

つまり、本日のほとんどの課題に対して、「改正骨子案」では、実に積極的な考え方、実施方法が書かれているわけで、本日は土木事務所側、三建側から、そうした内容を踏まえて、様々な意見があるものと期待している。

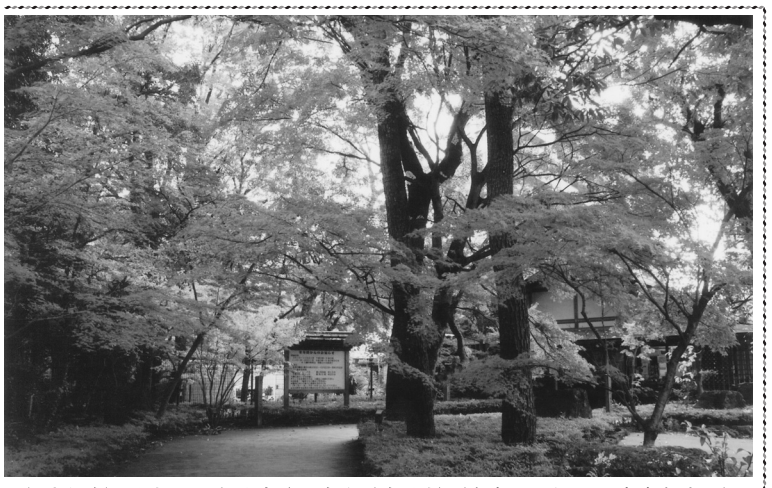
沼津土木事務所の幹部の皆様と協会役員がこうして一つのテーブルを囲み、意見交換・意思疎通を深めることは、互いに共通認識をもってこれからの様々な課題に取り組めることでありがたいことだと述べた。

次に沼津土木事務所の原所長が、「地域の住民、県民の安全・安心を担っているのは建設業の皆様。職業として若い人に選んでもらえる業界をつくるためにお互い協力していきたい。担い手確保に向け有意義な意見交換ができるようお願いしたい」とあいさつした。

懇談会では最初に土屋副会長が、用意した資料をもとに昨年度までの技術懇談会の経緯等を説明し、その後活発な意見交換を行った。

沼津土木事務所の原所長は総括して、「相互のコミュニケーションを高めるため、話しやすい環境をつくることが大切だと感じた。今後もビジネスパートナーとして、仲間として頑張っていきたい」と話した。

最後に小野会長が、「本日の懇談会で発注者が人手不足だということが分かった。協会としては監督員の数を増やしてもらうことを訴えていく。市町も平準化に意欲を持っていることがよく伝わってきた。平準化だけでなく適正な工期設定もお願いしたい」と講評を述べ、閉会した。



紅と緑が調和し、深まりゆく秋を彩るもみじ（楽寿園　撮影　青木久尚氏）

人脈ズームアップ

静岡県沼津土木事務所
技監兼修善寺支所長

戸栗（とぐり）　一泰（かずやす）氏

【略歴】１９９１年入庁、２０１１年交通基盤部建設支援局技術管理課積算班長、14年沼津土木事務所工事第１課長 、17年伊豆の国市都市整備部参与を経て19年４月より現職

大学で土木を専攻し、民間の大手鉄鋼メーカーに入社。５年間勤めた後、「生まれ育った静岡で仕事がしたい」という強い思いがあり、静岡県に入庁した。

最初は沼津土木事務所に配属。当時建設中の愛鷹広域公園などの整備に携わった。「民間で働いたときには現場ばかりで、法律に関わることがなかったが、公務員は仕事をする上で都市計画などの法律に詳しくなければならず、多くの本を読み込んだ」と振り返る。

印象に残る仕事は、富士土木事務所に赴任していたときに羽鮒高架橋の建設に携わったこと。施工と設計を担当し、地元や鉄道会社などに対する調整に奔走した。無事に橋が完成し、「地図に反映されたときには言い知れない充実感を味わえた」という。

官民連携し担い手確保を
利用者を考えた施工望む

大岡元長窪線の跨道橋の架設を担当した際には、東名高速道路の上に橋を架ける工事で、通行止めを実施する日が決まっていたにもかかわらず、工程が遅れていたため、「毎日プレッシャーに追われていた」と苦笑い。当時の上司で、現沼津土木事務所の原広司所長に相談し、「アドバイスをもらいながら、無事に事業を進めることができた」と感謝する。

事務所内では相談しやすい環境づくりを心掛ける。「職員が安心して仕事をするためには、話しやすい環境が大切。垣根を低くして職員が気軽に相談できるよう努めている」と話す。

本年度修善寺支所では県道修善寺天城湯ケ島線の改築事業が目玉だ。事業は伊豆市の２カ所で進めており、そのうち伊豆市佐野地区での改築事業は、伊豆市と伊豆の国市の新ごみ処理施設が供用を開始する２０２２年10月までに事業を完成させるため、支所を挙げて取り組んでいる。

建設業界に対しては、「災害発災時には頼りになる。若手の就労者が減少しており、担い手確保の課題を解決しなければならない。官民連携して取り組んでいきましょう」と呼び掛ける一方、「利用者に配慮した施工をお願いしたい」と望む。

休日はドライブでリフレッシュ。家族で鎌倉や横浜まで出掛けることが多いそうだ。

１９６４年１月26日生まれ。

熱海土木　優良工事表彰
三建会員から３社３個人受賞

静岡県熱海土木事務所（岩﨑泰宗所長）の令和元年度優良建設工事表彰式及び建設工事安全管理等研修会が８月23日、熱海市内で開かれ、三建会員から３社３個人が表彰された。

冒頭、岩﨑所長は「本年度は81件の中から厳正な審査の結果、特に優秀な工事として８件を表彰させていただく。受賞された皆様、工事に携わられた関係者の皆様に心からお祝い申し上げる」と祝辞を述べた。

来賓として出席した三島建設業協会の小野徹会長は、受賞者を祝福し、熱海土木事務所職員に感謝の言葉を述べた後、オリンピック開催まで１年を切った。本日の表彰にもオリンピック関連工事が含まれ、私ども建設業界もオリンピックに貢献していると考える。ただ、先日の気温を見てみると東京で34度、三島で34度、網代でも33度ということで、こんな暑さの中で選手は大丈夫だろうかと心配になる。また、それは他人事ではなく、私ども建設業界もこうした暑さの中で「熱中症」にならないように、また十分ではない工期の中で仕事を進めていかなければならない。冬の極寒の中でもそれぞれの役目を果たしていかなければならない。そして、その仕事場はというと「ジオパーク」に認定されるほど、脆い地形・地質で、去年の台風のように風向きが変われば、トラポットを動かすような過酷な現場である。

昨日、熱闘の高校野球の全国大会が終わったばかりで、球児たちが白球を追って、「勝って涙、負けて涙」のひたむきな姿が心を打った。我が業界をひたむきに牽引する皆様も、私たちに素晴らしい作品を残すことによって、またその働く姿勢によって大きな感動を与えてくれている。今日の表彰はそうした大きな感動を与えていただいた皆様への感謝の印だと思う。これからも他の業者、技術者の模範として、さらに研鑽を重ねられるよう祈念しているとの述べた。

受賞者を代表して、青木建設の佐野茂樹社長が謝辞を述べ、「表彰を受けた３社５名はそれぞれの職域において、長年にわたり地域に少しでも貢献しようという思いで建設業に従事してきた。本日このような栄誉に浴したことは関係者皆様のご理解ご協力の賜物。今後もなお一層地域建設業の発展のために努力していく」と話した。

表彰式後の研修会では、三島労働基準監督署の鈴木祐介第二方面主任監督官と、県交通基盤部工事検査課の平野為久検査監が講演した。続いて「地域貢献部門」で県交通基盤部長表彰に輝いた川口組の井上誠主任技術者が受賞事例を発表した。

受賞者は次の通り。

三建会員（３社３個人）

▽優良工事部門
青木建設

▽安全工事部門
堀口組

▽地域貢献部門
斉藤組

▽優良技術者部門
岩澤大輔氏（斉藤組）
高柳浩氏（斉藤組）
宇野久夫氏（斉藤組）

大井川越しの遠富士秋惜しむ　日差子

山里の悲話は古びぬ木の実雨（小夜の中山）　日差子

見渡して続く茶畠秋の富士　マサ子

どこからか金木犀の香を探す　礼子

山門はいつも開かれ散（ちる）紅葉　和子

信濃路の空の青さや木守柿（こもりがき）　文代

秋の夜や明かりを運ぶ里列車　藍子

番宿（ばんやど）を連ねて秋の大井川（島田宿）　文子

干柿のすだれ越しなる甲斐の山　ツトム

錆鮎（さびあゆ＝秋のアユ）の浅瀬に呑まれ流れゆく　斗潮

深き恩大先輩を偲ぶ秋　たつお

秋日和触れて人肌夜泣石（小夜の中山）　冴栄

担うのは子供たちだ

親子現場見学会に83人が参加

企画委

三島建設業協会企画委員会（石田龍夫委員長）は８月24日、親子現場見学会を開き、総勢83人が新国立競技場などを視察した。

一行は車中で、バスガイドから新国立競技場の概要の説明を受けて現地に到着。施設は11月完成に向け急ピッチで工事が進められているため、内部の見学はできなかったが、６万人収容の巨大競技場の大きさに子どもたちは感嘆の声をあげていた。外観を見て回り、外側に出ている「軒びさし」や、樹木が多く植えられ周囲と調和しているスタジアムを見学して、２０２０年東京オリンピックのメイン会場を実感した。

石田委員長は「今回も多くの親子に参加してもらった。建設業に興味をもってもらう事業として今後も継続していきたい」と述べた。

参加者から寄せられた感想文(1)

伊豆の国市立大仁北小学校　一年　やまざき　みおん

しんこくりつきょうぎじょうへいきました。そとからみるとできたばかりで、きれいでした。きょうぎじょうをみて、せんしゅにがんばってほしいとおもいました。

沼津市立第三小学校　一年　こばやし　かなえ

オリンピックのかいじょうになるたてものをみて、すごくおおきくてびっくりしました。やねがとてもたかくてみあげてしまいました。そとにはたくさんのきがあって、とてもきれいなところでした。

はやくかんせいしたたてものをみてみたいです。

三島市立向山小学校　一年　つちや　さえ

おおきくてきれいでした。おりんぴっくでてれびにでてくるのがたのしみです。

伊東市立南小学校　二年　北島　昴季

しん国立きょうぎ場を見学して、すごく大きくてびっくりしました。ここでオリンピックをやるのだなぁ、せんしゅはみんなうれしいだろうなぁとおもいました。

地下２かい地上５かいだてと聞いて、びっくりしました。ここをつくるのに、１日２４００人のさぎょういんの人たちが毎日はたらいていると聞いて、すごいなぁとおもいました。

ひさしにつかっている木はぜん国47と道ふけんのものをつかっていると聞いたので、はこんでくるのもたいへんだったろうなぁとおもいました。あたらしいきょうぎ場で、日本のせんしゅがたくさんメダルをとれるようにおうえんしたいとおもいます。

伊東市立池小学校　二年　杉山　幹英

ぼくは、はじめて新国立きょうぎ場を見て、テレビで見るよりもっと大きくて、びっくりしました。びっくりしたことがほかにもありました。まず一つめは、作りはじめてからかんせいまで３年もかかることです。

二つめは全国のいろんな木をつかってたてていることと、三つめは、ほかの国のオリンピックの会場よりも３ばいくらいのお金が、かかっていることです。オリンピック、パラリンピックでは、開かいしきやへいかいしきやりく場きょうぎがこのきょうぎ場で、行われるそうです。来年のときょうオリンピックをぼくはテレビで見ようとおもいます。国りつきょうぎ場がつかわれるところもよく見たいと思います。

伊東市立南小学校　二年　小川　翼

新国立競技場にいきました。

現在、工事は九割ほどかんせいしています。外側の部分は、ほぼ完成しています。

十一月の完成を目指して一日約二千四百人の作業員が、内外装やいろいろな設備外構など整備を行っており、現在内部に一般のかたははいれません。

工事費千五百九十億円以内。鉄骨一部鉄骨鉄筋コンクリート造、地下二階地上五階建て。たてもののたかさ約四十七・四ｍ。

感想は、すごく高くてきれいでした。あとまわりに木がいっぱいはえていて、とかいだけどしぜんがあっていいなとおもいました。

オリンピックパラリンピックが楽しみです。

伊豆市立熊坂小学校　二年　八木　あんり

あたらしくたてられたしんこくりつきょうぎじょうをけんがくして、すごくおおきくておどろきました。

とてもきれいでした。オリンピックがたのしみです。

函南町立丹那小学校　二年　神尾　りお

わたしは、なつ休みに、バスにのって、しん国立きょうぎじょうへ見学に行きました。

フェンスにかこまれていたけれど、自分のそうぞういじょうに大きくて、とてもおどろきました。フェンスの中では、大きなきかいがたくさんうごいていました。ユンボは、土をほってこれから木をうえるところだったようです。クレーンは、すごくたかくてはくりょくがありました。

しん国立きょうぎじょうは、木や草、花だんがなんだんにもなっていて、とてもきれいでした。みどりがたくさんあって、すごくすてきだなあとおもいました。二〇二〇年にとうきょうオリンピック、パラリンピックをここでやるそうです。外国からたくさんの人が来て、きっとかんどうするだろうなあとおもいます。

そんなしん国立きょうぎじょうが作られているところをけんがくできて、よかったです。たくさんの人ががんばってできているとしれてよかったです。

つぎにくるときは、中にはいってみたいです。

伊豆の国市立大仁北小学校　二年　下村　あきと

みんなでオリンピックの会場を見に行きました。

中までは入れなかったけど、ぼくはオリンピック会場が見られてうれしかったです。しゃしんをとりました。とてもきれいな会場でした。

ぼくはせん手たちにがんばってほしいと思います。

三島市立向山小学校　二年　土屋　めい

しゃしんだけじゃつまらなかったけど、大きさや、いえからどのくらいはなれてるのかしれてよかったです。

こんどはひろさや、すごさもしりたいです。

伊東市立南小学校　三年　三瓶　悠斗

新国立競技場の親子現場見学会に行きました。現場につくと、外がわの部分は、ほぼ完成していました。近くを、工事のおじさんたちがとおって行きました。だからまだ工事を、しているんだなと思いました。

11月の完成を目指して、１日やく２４００人の人たちが工事をしているそうです。そんなにたくさんの人たちがはたらいているから、国立競技場は、とても大きなたてものだと思います。

完成したら一度はなかにはいってみたいと思います。

見学会はとてもたのしかったです。

伊東市立池小学校　三年　杉山　漱星

ぼくは、新国立きょうぎ場の作っているところを見て、めざましテレビで毎日かんせいしていくようすがほうそうされているのを思い出しました。えいぞうは早おくりなので、あっという間にかんせいしていきますが、本当は、かんせいするまでに３年い上の時間がかかるのだな、と知りました。

時間だけではなくて、夏のあつい中や冬のさむい中でとてもたくさんの人たちがはたらいて、新国立きょうぎ場がかんせいしていくのだな、と思いました。

オリンピックは、ぼくはテレビでしか見られませんが、いろいろなきょうぎをおうえんすることと、新国立きょうぎ場がどんなふうにつかわれるかもみてみたいと思っています。来年の夏がとても楽しみです。

伊東市立南小学校　三年　山田　結衣

わたしは、新国立競技場に行って、思ったことは、大きくて、すごいと思いました。

たかさが47・４ｍあるときいて、とてもびっくりしました。また、中には入れなかったけど、とてもひろそうでびっくりしました。ここでしあいや、れんしゅうや、いろんなことをやるんだなと思いました。

すごくちかくで見れて、ほんとうによかったです。

南小学校のたいいくかんよりもぜんぜんひろく、すごくたかく、大きすぎるから、わたしじゃまいごになると思いました。

伊東市立南小学校　三年　遠藤　帆夏

わたしが新国立きょうぎ場を見てまずおどろいたのは、その大きさです。テレビで見たことはあったけど思ったより大きくて高さもあってびっくりしました。木がいっぱいつかってあって、日本らしいきょうぎ場だと思いました。この木には、四十七都道府県の木が使われているそうです。わたしが住むしずおか県の木も使われていると思うと、うれしくなりました。

かんせいした後、東京オリンピックやパラリンピックで使われているのを見るのが今から楽しみです。

伊東市立南小学校　四年　北島　潤季

新国立競技場の建物現場を見学して、東京ドームみたいに大きな建物でびっくりしました。地下二階で地上は五階建ての広さがあったので、建てるのが大変だっただろうなと思いました。

座席も六万席もあって、たくさんの人が座れるなんてすごいなと思いました。たくさんの作業員の人たちが、いろいろな機かいを使って建てていました。

屋根のひさしには、全国四十七都道府県の木材が使われていました。建て物の周りにもたくさんの木が植えられていて緑が多くていいなと思いました。

オリンピック・パラリンピックで日本の多くの選手にいっぱいメダルを取ってもらいたいです。

伊東市立南小学校　四年　塩谷　航平

ぼくは、現場見学会で新国立競技場を見てきました。新国立競技場は、もうほとんどできていて、下から見上げるととても大きかったです。また、木や緑がたくさん使われていて、おもしろい建物だなぁと思いました。庇は47都道府県から集めた木材を使用しているという話をバスガイドさんから教えてもらい、すごいなぁと思いました。

オリンピックは、テレビで見るけれど、ぼくはサッカーをやっているので、いつかこの競技場でサッカーをやりたいなぁと思いました。

伊東市立南小学校　四年　藤間　蒼介

新国立競技場にいってきました。

現在工事は、九割完成していて、外側の建物はほとんど完成していました。建せつ中の建物を見れてうれしかったです。

コンセプトは、木と緑にあふれる杜のスタジアムのようです。中だけではなく、外も木や葉っぱがいっぱいあり、本当に森のようだと思いました。完成した建物もみてみたいです。

東京オリンピックがさらに楽しみになりました。

伊豆市立中伊豆小学校　四年　渡邉　朋香

私は新国立競技場を見学して、思ったことが色々あります。まずは、とても大きかったです。もう一つは、まだ工事をしていたり、木を植えてあったり、電気がもうついていたことです。最初は中を見てみたいなとか、周りを一周してみたいなとか、思ったりしました。

来年の二千二十年にオリンピック・パラリンピックがかいさいされるのが東京なので、とてもうれしい事なんじゃないのかな、と私は思いました。競技がたくさんありすぎて、おうえんしきれないけどみんなにがんばってほしいです。

もう一つとてもおどろいたことがあります。やっぱり大きい分お金がかかると思いましたが、ここまでかかるとは思いませんでした。私の予想では八百億～千億だと思っていたら、千五百九十億円でした。とてもお金がかかりすぎてとてもびっくりしました。

私は、そうかんたんには行けないけど、一度だけでいいからオリンピックに出てみたいな、と思いました。私の習い事でオリンピックの種目に入っているのは二つあります。一つは水泳です。二つ目は新体そうです。私は二つともがんばっています。どちらかでオリンピックに出れたらいいです。

最後に私が思った事は、今度完成したすがたを見たいな、と思いました。

伊豆市立熊坂小学校　四年　八木　瑠斗

新国立競技場を見学して、大きな建物で想像していたよりも大きくて、おどろきました。

外部から風をとりこむひさしに全国47都道府県の木材がつかわれていることを知りすごいなと思いました。所々に、木が植えられていて、緑がとてもきれいでした。

オリンピックがとても楽しみです。

伊東市立南小学校　五年　舘林　響

私は今回、新国立競技場を見に行くと聞いて、そこはどういうところだろう？と、思いました。色々考えてみたのですが、とくにスポーツをしない私の家は、うまく想像する事ができず、大きな体育館かな？とも考えてみたのですが、実際行ってみてとてもびっくりしました。

思っていた以上に大きかったからです。なるほど、資料を見てみると、建物面積が約七万二千四百平方メートル、建物の高さが約四十七・四メートルと書いてあり、その数字をみてもぜんぜん想像することのできない規模です。こんなに大きな建物が一つ一つ人の手で作ってきたんだなと思い、大変そうでびっくりしました。作った人頑張ってるなーと思いました。

今回見学に行き中に入れなかったのは残念だったなとは思いましたが、テレビで観るときには、あの大きさを想像して観たいと思います。今回は見学をさせて下さり、ありがとうございました。

伊東市立南小学校　五年　山田　さえ

私たちの目的、新国立競技場に行った時、すごく大きくてびっくりでした。そのあと、かえってふうとうのなかに入ってたしりょうを見ました。

しりょうを見ると、工事は９割ほど完成していて、外側はほぼ完成していると書いてありました。内部は約３ヶ月先の11月に完成する予定みたいなので楽しみです。

でも１日だいたい二千四百人ほどの作業員さんが、いろいろな工事を行っているのであつい中大変だなと思いました。完成した後は、オリンピック・パラリンピックのメインスタジアムとして開会式、閉会式、陸上競技会場になるみたいです。

新国立競技場の工事費はなんと千五百九十億！、大きい会場なのでそれくらいはかかると思います。工事期間は３年前ほどから作っていて、建物の規模は地下が２階地上５階建てで、私はもっとあると思いました。

夢ある地域の未来を

伊東市立南小学校
五年
遠藤　叶夏

新国立競技場は二千二十年東京オリンピック・パラリンピックのメインスタジアムで、開会式、閉会式、陸上競技に使われます。

高さが約四十七・四メートル、建物面積は約七万二千四百平方メートルです。

設計は隈研吾さんという方がしたそうです。また、この方は、「和」をイメージしたデザインを旨として、「和の大家」と言われています。

収容人数はなんと約六万人だそうです。車椅子席がオリンピック時は、約五百席、パラリンピック時は、約七百四十七席もあります。

夏場に開さいされるオリンピックは暑さ対策が重要です。まず、一つ目は、屋根の付け根部分にある外部から風をとりこむ「風の大ひさし」を設けてあります。このひさしは四十七都道府県の木材がつかわれています。二つ目は、客席の背後にファンを百八十五台設置してあります。一階に百八台あり、三階に七十七台あります。三つ目は、ミスト冷却装置が八つの所にあります。一階に六つ、二階に二つあります。

巨大屋根を支える柱は二百十六本あります。

一日、約二千四百人の作業員が新国立競技場をつくっているそうです。

工事期間は平成二十八年の十二月から令和元年の十一月までです。

わたしは、この新国立競技場の完成が楽しみです。

函南町立東小学校
五年
松下　優海

今年は、新国立競技場に行きました。

親国立競技場のコンセプトは木と緑にあふれる杜のスタジアムです。建物のまわりには植物が植えられています。外には木が植えられていて、植木をクレーンで運ぶところを見ました。屋根の付け根部分にある、大ひさしには、全国四十七都道府県の木材がつかわれています。自分の住んでいる県の木を使われていてうれしいです。

来年はオリンピックです。世界中の人がこの競技場にあつまるのが、たのしみです。

三島市立錦田小学校
五年
小野　亜香里

私が新国立競技場を見て思ったことは、外そうがすごくきれいでいいなーと思いました。木が植えてあって、日本らしくていいな、と思いました。

そして、入口のあたりにエスカレータがあって、足をげがしている人や、おとし寄りの人も、利用できるなと思いました。

ここからはしりょうを見て思ったことです。

観客席は、何故5色もの色にしたのだろうと思いました。すべて白色にしてしまえばいいのではないか、と思いました。（なにかりゆうがあるのだろうか？）

それと、観客席といえば、車いすせん用の席があるので、車いすの使用者にもやさしくなっていて、ユニバーサルデザインがあっていいな、と思いました。

最初にテレビで、新国立競技場のこと聞いた時きっと新次元みたいなガラス張りなんだろうなーと思っていましたが、意外に木がたくさんつかわれていて、日本！って感じだった！

そして、夏場の、オリンピック、パラリンピックなので暑さ対さくもしてあって、すごいなーと思いました。最近すごく暑くなっていますので、てっていして3つも工夫をしているんだなーとはじめてしりました。

新国立競技場は、ユニバーサルデザインや、暑さなどにもしっかり対応していました。とてもよいオリンピック、パラリンピックになることを願っています。

伊東市立西小学校
六年
堀口　真之介

ぼくは新国立競技場に行きました。新国立競技場は、緑にあふれていてとてもきれいでした。また、建物にも木が使われていて、「和」も感じました。

工事費には1590億円も使われていて、とてもお金がかかるんだなと感じました。四年に一度の大きなイベントには国もお金をかけて盛り上げようとしているなと思いました。

会場はとても大きく、たくさんの人が入れるような会場だと思いました。建物の造りもすごくて、屋根を支える柱がきれいに並んでいました。オリンピックでは、たくさんの人が来るので、盛り上げてほしいと思いました。そして、最高のオリンピックにしてほしいと思いました。

伊豆市立中伊豆小学校
六年
渡辺　雅紀

ぼくは、新国立競技場に行って思った事は、まず建物の面積が7万2千4百㎡もあってとっても大きい建物だな、と思いました。それに工事費が1千5百9十億円という数にとってもおどろきました。こんな数字は算数の計算ぐらいにしか出てきた事があまりなかったのでとってもびっくりしました。

でRX-7という車が一台約400万円ぐらいなので計算したら三万九千七百五十台も買えるから、すっごいお金がかかっているなぁーと思いました。

あと、新国立競技場は道路がわからしか見ていないので、（一周回りを見て行きたかったなぁ）と、思いました。

それで外がわから見て、中に木を運んでいるのが見えたので木を植えているのと新国立競技場の緑がふえてきているので気持ちがいい場所になるのじゃないかなと思いました。

それとぼくは、個人的に新国立競技場の内部に入ってどんなしくみになっているか知りたかったので、中に入れなくて残念だなと思ったけれど、外からでも良かったのでいい経験になったなと感じました。

内部はオリンピック当日に見るぞと思いました。

伊東市立対島中学校
一年
海野　琉

僕は新国立競技場に行き、建設費が千五百九十億程と聞きすごくびっくりしました。ただ開会式と陸上とサッカーをやるだけでこんなにも金がかかると知り、オリンピックの壮大さを改めて思い知りました。

オリンピックが自国で開催されるということはその国の国民にとっての大きな誇りなんだと思いました。

競技場は今年の11月に三年間の建設期間を経て完成するそうです。完成した姿を見るのが楽しみです。

伊東市立対島中学校
一年
久保田　晃成

テレビの映像で見ていた新国立競技場。実際に見ることができると聞いたのでわくわくしていました。

新宿区霞ケ丘町の建設現場に着いて、大勢の人が工事をしていました。テレビや新聞でみるよりもとても大きくて迫力がありました。建物の面積が約7万2400㎡もあると聞いてびっくりしました。大きな建物はコンクリートや鉄で造って、小さな住宅などは木で造るのが常識だったけれどここでは、あえて木を使っていて温もりや優しさを感じられるように考えられています。

そして、観客席は統一感なくランダムにバラバラな色合いが使われています。これは、黄緑や茶色などの五色のアースカラーを使って、森の木漏れ日をイメージしているそうです。こんなところまでしっかりやっているなんてすごいなと思いました。こんなに大きい建物をたくさんの人が協力していて立派だなと思いました。

今回は、工事現場という貴重なところを見れてよかったです。東京オリンピックが楽しみになってきました。

熱海市立多賀中学校
一年
藤間　遥

私は、今回見学した新国立競技場は、ほぼ完成していて中には入れなかったけど、外側の部分はすごくきれいにできていてすごいと思いました。

コンセプトが木と緑にあふれる「杜のスタジアム」ということで緑を多くするのは、地球にとってすごく良いことなのでこういうプロジェクトがもっと増えればいいなと思いました。

伊豆市立修善寺中学校
一年
原田　寅泰

今回の新国立競技場はとても楽しみにしていました。

ぼくは中学になって陸上部に入りました。オリンピック会場の外回りを見たのですが、木がたくさんあったのでとてもすずしそうでした。

夏場に開催されるオリンピックなので暑さ対策が心配でしたが、客席の背後にファンが百八十五台つき、外部から風をとりこむ「風の大ひさし」もつくと聞いてうれしい。もうちょっとファンが多くあってもいいと思いました。

来年のオリンピックがとても楽しみになりました。

沼津市立第三中学校
一年
小林　聖

新国立競技場は、想像以上に大きくてすごくインパクトがありました。また、観客の人たちも快適にできるように暑さ対策がしてありました。その暑さ対策では、「気流を生み出すファン」が百八十五台と今やこれからの気温などには、すずしくていいなと思いました。

新国立競技場の屋根は、高さが約六十mもある巨大な屋根でとてもびっくりしました。さらに、鉄骨に国産のスギとカラマツを組み合わせてつくられていて、コンセプトにもあるように木と緑（自然）にあふれていました。また、建物や敷地内に約四万八千本、約百三十種類の植栽をするようで環境にも良く、同時に自然も楽しめるメリットがあるなと思いました。

どんな新国立競技場になるかすごく楽しみです。

三島市立錦田中学校
一年
小野　馨子

新国立競技場を見て私が思ったことは、外装にたくさんの木が使われていて、日本らしい和風な造りだということです。私が一番最初にテレビで新国立競技場のことを聞いた時、また人工物が増えるだけだろうと思っていたら、植栽があったり木が使ってあったりして、自然があふれる和風な世界をほこっていいのではないかと思いました。

また、座席は、車いす席があって、車いすの使用者にもやさしくなっていて、いいと思いました。

ところで私には不思議に思ったことが一つあります。それは（なぜ不思議な五色を組み合わせたのか）です。緑や黄緑や白にした方がいいのではないか、と思いました。

夏場のオリンピック・パラリンピックということで暑さをしのぐために三つの工夫がしてあることも分かりました。一つ目は、「風の大ひさし」という、屋根の付け根にある部分で、ここで外部から風をとりこんでいます。二つ目は百八十五台の客席の背後のファンで、観客の体感温度を下げるようにしてあることです。そして三つ目は、ミスト冷却装置です。この三つで、夏の暑さをおさえて暑さをしのぐことが分かりました。

新国立競技場の内側を次はじっくり見てみたいな、と思いました。

歴史の新たな一ページに刻めるすばらしい大会になるよう応援したいです。

三島市立南中学校
二年
小澤　綾奈

私は、テレビでしか見たことない新国立競技場を実際に見ることができました。少ししか見れなかったけれど、それだけでも迫力がすごかったです。見たまんまだともうほぼ完成しているように見えました。完成まで、あと三ヶ月ほどだと思いますが、とても楽しみになりました。

この作文用紙と一緒に入っていた「新国立競技場について」を読んでみると、色々とびっくりすることが多くありました。例えば、工事費が千五百九十億円以内ということです。普段の生活では聞いたことのない額でびっくりしました。どんな風にできあがるのか、すっごく気になります。

もう一つびっくりしたのは、建物の規模です。さすがオリンピックの会場！と思ってしまいました。

今回の見学で、色々な知識も増え、楽しみも増え、とても良い経験となりました。とてもオリンピックが楽しみです。

三島市立南中学校
二年
石井　希侑

私は、オリンピック・パラリンピックが開催されるとき、テレビでしか国立競技場を見ることができないけれど、きっと世界の色々な人が来て盛り上がるんだなと思いました。

まだ完成していないけれど、本番は多くの人の思い出や元気をもらえる場所だと思うから、応援した人全員にいい場所だと言ってもらえたらうれしいです。

また、この場所は陸上の会場として使われます。だから、日本国民全員がほこりに思うようなプレイをしてほしいです。

ところでみなさんは、オリンピック・パラリンピックが終わった後、国立競技場は何に使われるか知っていますか。実は、サッカーの試合や野球の試合をする球技場になるそうです。また、観光スポットになるという案がでているらしいです。色々な使い方があって楽しみだなと思いました。

国立競技場はたくさんの人の努力と苦労で作られています。きっとこの場所でたくさんの人が笑顔になったり、思い出を作ってほしいなと思いながら作っていると思います。

だから、私は、マナーを守ってきれいに使ってほしいです。もしマナーを守らなかったらどうなるでしょうか。まわりの人が不快に感じ笑顔がなくなるでしょう。作った人は、きっと悲しくなるでしょう。だから作った人に、（この仕事をして良かったな）と、思ってもらえるように、しっかりマナーを守って、応援しましょう。そして、みんなで盛り上げましょう。

沼津市立第三中学校
二年
小林　楓

私ははじめて新国立競技場を見ました。少しの時間しか見る事はできませんでしたが、すごく大きくて迫力がありました。緑がたくさんあり、自然も感じられて、とても良かったです。

工事期間があと約三ヶ月なので完成が楽しみです。工事費が、税金等で作って

参加者から寄せられた感想文(2)

いる事から、無駄のないようにしているところや、「和」をイメージし、日本らしさを出しているところが良いと思いました。

他にも、車椅子席がオリンピック時に約五百席、パラリンピック時に約七百四十七席もあり、どんな人でも楽しむ事ができるようになっていて、良いと思いました。

それに、たくさんのファンを設置したり、「風の大ひさし」がとりつけていたりして暑さ対策をしているところが、人への思いやりのようなものがあり、どんな人でも楽むことができるなと思いました。

そんな新国立競技場なら、たくさんの人を笑顔にし、素晴らしいオリンピックやパラリンピックにすることができると思います！

三島市立中郷中学校　二年　岩川　菜緒

少ない時間の中で見た新国立競技場。私の中の印象は、緑があふれていて、とても美しいなと感じた。建物は木材が使用されていて「Ｔｈｅ日本!!」というオーラがでていた。まだ、完成はしていなくて、外からしかみれず、残念ではあったが、とても興味が湧いたので調べた。

新国立競技場でやる競技は、オリンピックがサッカーと陸上競技で、パラリンピックでは陸上競技だった。私は、サッカーをやっているので、女子の決勝をみてみたく、チケットを応募したけど、落選してしまった。まだ、一般の応募があるので、それに応募したい。

そして、外国からくる人に日本ってステキだなと思ってほしいし、日本の人は、日本の文化や技術など日本の良さを外国の人に伝えていきたいなと思った。

伊東市立対島中学校　三年　海野　虎太郎

僕は新国立競技場に行くと聞いて、（ああ、オリンピックの場所だ）と思い、どのような感じなのかと考え、楽しみにしていました。

行く前にバスガイドさんの話の中で、予算が約千五百億円と聞き、（すごい大金）と思いました。

実際に見てみると、外側にプランターが置いてあって、コンセプトの木と緑のあふれる「杜のスタジアム」を表していてすごかったです。完成はしていなかったけど、大きかったので、次は完成した物も見てみたいです。

伊東市立対島中学校　三年　中村　真雫

僕は新国立競技場を見て、ただ、白色で固めて綺麗に見せようとしているのではなく、コンセプトにのっとり、木を使用するだけでなく、各県からスギやカラマツを集めて使用することで「メインは東京だけれど、日本全体で盛り上がっていこう」という設計の隈研吾さんの意図を感じます。そして、建設地自体が緑に囲まれていてすごくいい場所だと思います。

そして何より僕は、コンセプトである、木と緑にあふれる「杜のスタジアム」の杜という部分に注目してみました。杜という言葉の意味は、杜の鎮守というように、神社のある地の木立ちの意味で使われるので、神聖な場所である新国立競技場に合っていて素晴らしいコンセプトだと思いました。

オリンピックで新国立競技場に足を運び、競技を見ることはできないけれど、しっかり応援したいと思います。そして、競技だけでなく、見学を生かして競技場にも注目したいと思います。

伊東市立対島中学校　三年　髙梨　琉晟

僕は、初めて新国立競技場に行ってみて最初に思った事は、この競技場のコンセプトどおり、木と緑にあふれるくらいに緑が多いと思いました。

そして夏に行われるオリンピックなので暑さ対策もしっかりされていて、例えば屋根の部分に風の大ひさしという外から風をとりこむものを設けてあります。そしてその風の大ひさしには全国四十七都道府県の木材が使われていて、一つ一つにこだわっていて凄いなと思いました。

今回は残念ながら内装を見る事は出来ませんでしたが来年のオリンピック・パラリンピックが始まったら見れるかもしれないので来年の開催が楽しみです。

伊東市立南中学校　三年　河内　綾菜

私は、今回新国立競技場に行きました。

新国立競技場のコンセプトは木と緑にあふれる「杜のスタジアム」です。工事費は約一千五百九十億円です。

外から見るかぎり、九割くらい完成していて、高さ約60ｍの屋根が姿をみせました。国産のスギとカラマツを組み合わせてつくっているそうです。

私は今回、新国立競技場の見学に行ってみて、建物がどんな風につくられているのかをあらためて見る事が出来ました。オリンピックがまちどおしいです。

何十年後かにまた、東京開催される事を願っています。

沼津市立第三中学校　三年　小林　睦

少しですが実際に見た新国立競技場は、思ったより大きかったです。座席数が六万席あることにびっくりしました。世界中の人たちがオリンピック、パラリンピックを観戦している風景があまり想像できないです。

新国立競技場内には気流創出ファン百八十五台が取り付けられているということで観客たちの安全を考え、工夫してあるなと思いました。

あともう一つ工夫がされてるなと思ったのが、ひさしに四十七都道府県の木材を使用しているということです。さまざまな工夫がされていると観戦を楽しむだけでなく、建物を見るだけでも楽しむことができます。すばらしい考えだなと思いました。

そんな新国立競技場、中は見れませんでしたが、建物だけ見ることが出来て良かったです。

静岡県立熱海高等学校　一年　藤間　遼平

今回見学してきた新国立競技場は、コンセプトにあるように、外装はすでに森と都会を混ぜたようなとても目にも自然にもいい建物になっていました。

内装では作業員の方たちが11月に向けて作業していました。

沼津工業高等専門学校　二年　岩川　隼人

たった数分の中で、新国立競技場には、木材が多く使われていて、日本の「和」を感じた。また、会場の周りに緑が多くあり自然との調和というコンセプトを感じることができた。

場内を見ることができなかったのは残念だったが、調べてみて分かったことがある。まず、この競技場に使われている木材は、四十七都道府県それぞれの地域の杉を使っており、日本全国の一体感を表していた。

次に、最上階に散歩道がスタジアムを囲うように設置されており、森を見渡し四季を感じながら都市景観を楽しむことができるそうだ。

今回少しか見ることができなかったが、実際に新国立競技場を見て関心を持つことができ、調べてみたことで、さらに興味が深まった。

三建めぐり

花を求めて

大和証券（株）沼津支店
資産コンサルタント課主任
小坂（こさか）　菜月（なつき）さん

「的確にニーズを捉え、最適な資産アドバイスを」

証券会社に興味を持ったきっかけは合同就職セミナーだった。「話しを聞くうちに、直接金融の比率が欧米並みになれば日本経済はもっと発展するのでは」と思うようになった。日本経済が発展すれば、生まれ育った県東部の地域経済の活性化にもつながる。地域に密着しながら、地元の人の役に立つ仕事がしたいと、転勤のない「エリア総合職」の道を選択し入社した。

社会人として３年目を迎えている。入社後の「研修制度がしっかりしていた」おかげもあり、一人前の資産コンサルタントとして、営業活動に邁進する日々が続く。

「お客さまにはご年配の方が多く、人生訓や美味しいお店など、経験したことがないことや知らないいろんなことを教えてくれます」と感謝する一方、着実に顧客からの信頼を獲得している。ゴルフもそのうちの一つで、「お客さまに勧められ始めた」そうだ。

日本ＦＰ協会が認定するＡＦＰ資格を持っており、「お客さまの話しを真摯に聞きながら、ニーズを的確に捉え、相続を含めた資産全体の最適な提案を行いたい」と、今後はＣＦＰ資格の取得を目指すという。

建設業に対しては、「家の前の道がへこみ、水たまりがあったが、すぐに奇麗にしてくれました」と、その技術とスピードに驚く。

劇団四季のディズニーミュージカルが好きで、東京の劇場には３カ月に１回は足を運ぶ。「大掛かりな舞台セットやディズニーの世界観に引き込む演出が魅力的」と熱く語る。

平成６年４月函南町生まれ。韮山高校、静岡大学と進み、「やさしい人が多い」地元をこよなく愛する。

ゴルフ歴も３年目を迎えた（後列左が本人）

生コンの御用命は下記の会社をご利用下さい

熱海生コンクリート販売協同組合
事務所　伊東市吉田字長畑道上１０２６－３７　電話（0557）44-4411

◇組合員

真鶴生コンクリート㈱
神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴1898
ＴＥＬ（0465）６８－１１７１

㈱しょうじ建設函南生コン
田方郡函南町軽井沢 226 － 1
ＴＥＬ　（055）９７４－０２２６

野村マテリアルプロダクツ㈱
湯河原工場
熱海市曽我山１９９３
ＴＥＬ　（0557）８２－１２４４

野村マテリアルプロダクツ㈱
熱海工場
熱海市曽我山１９９３
ＴＥＬ　（0557）８２－１２４４

稲村生コンクリート㈱
熱海市上多賀４５７－１
ＴＥＬ　（0557）６８－１６２１

㈱サンキ工業㈱生コン工場
伊東市荻３９５
ＴＥＬ　（0557）３７－８５８５

㈱　新明通産
伊東市吉田字長畑道上1026－37
ＴＥＬ　（0557）４５－３４３３

野村マテリアルプロダクツ㈱
新野村工場
伊東市吉田字長畑道上1026－37
ＴＥＬ　（0557）４５－１３６６

㈱　富士宇部
東伊豆工場
賀茂郡東伊豆町稲取 2230 － 1
ＴＥＬ　（0557）９５－３１６８

鉄骨のご用命は当社へ

国土交通大臣認定工場Ｍグレード
株式会社　大　城　工　業
代表取締役　大城　英一
住所　伊豆の国市神島49-1　〒410－2325
TEL 0558(76)－3299
FAX 0558(76)－5007

マンション計画修繕工事
調査診断・改修工事、保全まで
責任施工・工業会会員
・コニシベステム工業会会員
・全国ハーゲン防水美装工業会会員
・イサムエラストマー会会員
・リボールマイティ工業会会員
株式会社トニック
静岡県三島市川原ヶ谷230番地の3
TEL 055-973-2056　FAX 055-973-2076

電気設備工事
設計施工
株式会社ダイナナ
代表取締役社長　内田　豪
本社　三島市梅名３７１－２
電話〈055〉977―3511㈹
熱海営業所・厚木支店

大野電機工業株式会社
代表取締役　大野文男
三島市南二日町24-27　電話〈055〉975―1040㈹

近和（きんわ）電業株式会社
代表取締役　今瀬　誠
支社　静岡県三島市平成台８番地
ＴＥＬ〈055〉986―5211㈹
静岡本社・東京支社

「土肥地区の躍進を願って」

静岡県熱海土木事務所
所長　岩﨑泰克

静岡県の土木職員として勤務して三十数年が経過しようとしています。

この中で3回ほど沼津土木事務所勤務がありました。三島建設業協会の皆様には大変お世話になりました。中でも今はなき土肥支所勤務の思い出について記してみます。

平成11年度から13年度の3年間支所で従事しました。

異動前は県総合管理公社で橋梁の設計を行っていたためか、支所では主に道路、特に橋梁を担当しました。

○八木沢海上橋（現：土肥サンセットブリッジ）

国道136号道路改良事業は、当時「八木沢工区」と「土肥峠工区」の2工区に分け整備を進め、海上橋は八木沢工区の一部でその名のとおり海の上に架かる橋梁です。海に架かる橋なので基礎工から上部工架設までに必要な施工ヤードを最初に構築する必要があり、方塊ブロックで外周を囲い、その内側に土を盛ってヤードを完成させるわけですが、八木沢は伊豆西海岸に位置し、特に冬季の西風の際には風浪・波浪が厳しく、作業中の安全確保が危惧されましたので、受注者の方と過去の気象状況（風速・風向、波高など）を調べ、方塊ブロック前面に消波ブロックが必要であることを本庁事業課と何度も協議し、その結果消波工の施工を認めてもらい次のステップへと進むことができました。

八木沢海上橋

話は前後しますが、私が土肥に赴任した時には、海上橋の土肥側の橋台に掛る土地の売買契約が済んでおらず、橋梁建設の進捗に黄色信号（個人的には赤信号?）が灯っていました。橋梁建設に強硬に反対する地権者の方が2名おり、交渉自体も進捗がありませんでしたので、支所長と一緒にほぼアポなしで地権者宅へ足しげく伺い、2年かけて売買契約にこぎつけることができました。

橋梁形式は3径間連続PC箱桁橋で、私が担当した期間は、橋脚基礎のニューマチックケーソンから橋脚柱頭部までと、土肥側の橋台の施工を担当しました。ケーソンの現場立会いにもかなり行きましたが、ケーソン内の掘削には小型バックホウが使用され、いつになったら基盤面に到達できるのか気をもんでいましたが、ようやく基盤面を確認したときは、思わずガッツポーズをしたのを覚えています。

その後順調に工事も進み、上部工は後任者へ引き継ぎ、平成15年度に橋梁が完成し現在に至っています。

ちなみにケーソン施工時に海上橋の東に位置する当時の国道（旧道）の法面が大々的に崩壊し、しばらく全面通行止めを余儀なくされ、その後災害復旧工事で法枠工を施工しましたが、海上橋の完成があと2年早ければ社会的影響が少なかったのにと今でも思います。国道136号は伊豆地域の幹線道路ですから。

○土肥峠7号橋（現：うつぎの3号橋）

国道136号道路改良事業の「土肥峠工区」の終点部（グリーンヒル土肥の南側）に位置する7号橋は、幅員が狭く屈曲した国道をショートカットする橋梁です。この橋梁の特徴は高橋脚（高さ30㍍超）で、縦断勾配がきつく曲線橋であったことです。

土肥峠７号橋

私が引き継いだ時は、大口径深礎杭が完了し、橋脚柱の施工に掛る状況でした。橋脚が立上がっていき橋座（梁部）での現場立会があった際には、高所恐怖症の私は足場階段を下を見ずに登っていき、足場から橋座へ移動する際には一歩がなかなか出せず冷汗をかいたのを覚えています。

床版コンクリートは2月の厳寒期に打設しましたが、峠なので風の通り道となっており、温養生を施しながら施工をし、無事年度末に開通することができました。ちなみに橋名板は地元の町長などの有力者に書いてもらうのが当時一般的でしたが、町長にお願いしましたが辞退され、他の有力者の方にもお願いしましたが皆さん断られたので、仕方なく私が書くことになりました。今でも多分そのままの状態で残っているとは思いますが。（後日確認したところ、まだありました！）

○そして今

私も支所から異動となり、八木沢工区が完了し、修善寺支所が担当となり、残る峠工区の整備を進めましたが、地形的に非常に厳しい箇所を橋梁、大規模切土など、苦労も多かったでしょうが、昨年度完成し供用開始しました。昭和61年度に着手した「国道136号土肥拡幅」がゴールしたわけです。

あわせて伊豆縦貫自動車道「天城北道路」の整備に合わせて着手した「下船原バイパス」も、天城北道路の完成と同時期に供用開始され、伊豆西海岸へのアクセスが飛躍的に向上しました。

このことにより、伊豆地域の交通ネットワークの強化が図られ、安全で快適な交通環境が確保されたわけです。

このように苦労して作られた施設は今後メンテナンスが必要となってきます。作ったものをいかに長持ちさせるかについては現在も取り組んでいますが、施設を守るためには、今後も皆様とともに、さらなる技術力を駆使して施設を守っていくことが重要な時代となっています。

橋名板　まだありました

土木・災害対策委と技士会三島が県民の日イベントに協賛

三島建設業協会土木・災害対策委員会（土屋龍太郎委員長）と静岡県土木施工管理技士会三島地区（佐野茂樹地区長）は8月21日、三島市中島の静岡県企業局東部事務所柿田川支所（中島浄水場）で行われた「県民の日」イベントに協賛した。

会場では、おもちゃのバックホウによるボールのすくい取りや、液状化現象の実験、災害復旧の写真や県との災害協定書写しのパネル掲出、建設機械のバックホウの展示などを行った。

土木・災害対策委員会と技士会三島地区の関係者16人は建設業の活動を伝えるとともに、訪れた多くの来場者の対応に大忙しだった。

農林土木技術研修会を開催

土木・災害対策委、技士会三島

三島建設業協会土木・災害対策委員会（土屋龍太郎委員長）と静岡県土木施工管理技士会三島地区（佐野茂樹地区長）は8月27日、三建大会議室で静岡県東部農林事務所と令和元年度農林土木技術研修会を開き、75人が出席した。

冒頭、あいさつに立った土屋委員長は「今日は建設業の役割の中の防災対策や家畜伝染病対応などについて有意義な研修としたい」と呼び掛けた。

研修会では、県東部農林事務所農地整備課の岩瀬秀範課長が「岩手県における農地等災害復旧状況報告～東海地震への備え～」、石川幸志検査監が「発注者（東部農林事務所）が実施する令和元年度建設工事事故防止重点対策」、河合秀之検査監が「より良い工事の品質確保について（2）」と「家畜伝染病発生時について」と題し講演した。

第3回合同会議開く

土木・災害対策委と技士会三島

三島建設業協会土木・災害対策委員会（土屋龍太郎委員長）と静岡県土木施工管理技士会三島地区（佐野茂樹地区長）は8月27日、三建中会議室で合同会議を開き、農林土木技術研修会や家畜伝染病対応などについて話し合った。

冒頭、土屋委員長は「フレッシュな情報もあるので忌憚のない意見を出してほしい」とあいさつした。

今回の合同会議では、東部地域局本部運営訓練や東部農林事務所長との面談結果などの報告の後、9月18日に開催される沼津土木事務所との技術懇談会の進め方や家畜伝染病対応について協議した。フリートークでは工事成績評価や設計書などについて活発に意見を交した。

また、8月21日に県企業局中島浄水場で行われた「県民の日」イベントに土木・災害対策委員会と技士会三島地区が協賛したことが報告され、佐野地区長は「子供たちが建設業に触れる機会としてこれからも継続していきたい」と話した。

また、佐々木組（伊豆市）の渡邉健氏が「平成29年度中山間地域（中山間・向上）伊豆筏場地蔵堂地区農道1工事」について、技術発表を行った。

第2回フルハーネス特別教育実施

建災防三島分会

建設業労働災害防止協会静岡県支部三島分会（小野徹分会長）は9月6日、三建大会議室で第2回「フルハーネス型安全帯使用作業特別教育」（全コース）を開催した。

当日は58人が受講し、座学は労働安全コンサルタントの鈴木敬司氏が講師を務め、実技は鈴木氏のほか、三建安全委員の濱田博通氏と青木代司男氏が指導した。

『優良産廃処理業者認定制度』静岡県知事認定取得第一号
◆優良認定制度は、優良な産廃処理業者への処理委託を推進することによって排出事業者の環境への配慮を促進する目的で定められています。
エコアクション21
全国産業廃棄物連合会『優良事業所』表彰
電子マニフェスト即対応（JWNET,e-reverse,e-マニフェスト）　工場見学随時受付
SEKI TRANSYS セキトランスシステム
HP http://www.sekitransys.co.jp
本 社／〒411-0933 静岡県駿東郡長泉町納米里515ー1　TEL〈055〉988-6868
廃棄物中間処理　管理型最終処分場　クレーン作業
ゼロエミ処理対応　サーマルリサイクル施設
破砕・圧縮・切断・溶融固化　焼却処分　埋立指定廃棄物に対応中
運輸・倉庫　テクパル
家電リサイクル指定引取場所　住宅設備機器販売　太陽光発電システム販売

JIS工場からより良い製品をお届けします。
コンクリート製品の御用命の筋は下記の会社へ是非共お願い致します。
（営業品目）
土木用間知ブロック・道路用製品他
土屋建材株式会社
菅尾工業株式会社

営業品目
砕石・割栗石
間知石・埋土工事
立岩石材㈱　伊豆市船原（0558）87—0831
二葉建設㈱　御殿場市新橋（0550）82—2087
伊豆地区採石業災害防止協議会

SHINKO
土木／解体工事・不動産事業
本　社:伊東市富戸1091-7　TEL0557-51-4755
工事部:伊東市吉田920-40　TEL0557-51-4362
産業廃棄物運搬・処分
処分場:伊東市富戸1285-17　TEL0557-51-4722
㈱新光重機土木

歴史よもやま話　200

日本全図を作った男たち

伊能忠敬と長久保赤水

和泉　清

九十九里浜の小関村に生まれた伊能忠敬（１７４５～１８１５）が佐原の造り酒屋・伊能家に婿入りしたのは、彼が17歳の時であった。家業に精励した忠敬は成功を収め、49歳で早々と隠居している。

彼は江戸に出て天文・暦学を志し、19歳も年下の高橋至時に入門する。高橋は大阪警備の玉造組同心から、寛政の改暦のために幕府の天文方に抜擢された新進気鋭の学者であった。

忠敬は師の下で暦学の基本を徹底して学ぶ。高橋は「暦の誤差を減らすには地球の正確な大きさを知る必要があり、そのためにはエゾ地あたりまで測量した結果をもって緯度１度の距離を求めるならば、天下の宝となろう」と語った。

忠敬はすぐさま周到な準備にとりかかる。時あたかも北辺にロシアの脅威が迫っていた。そこで測量計画は北辺有事に備えた地図作成を表看板とした。幕府の許可と支援を得やすくするための方便である。

計画が実現したのは忠敬が高橋に弟子入りしてから５年後のことであった。しかしながら、第一次測量で得た数値は師を満足させるものではなかった。その一方、地図の方は幕閣から望外の評価を得たのである。

追い風の中、第二次測量以降は作業内容のマニュアル化などを進め、より正確な測量・作図に努めたので第五次には正式な幕府測量隊となり、諸藩の協力も得られるようになった。

この間に間宮林蔵が弟子となり、第七次の九州測量から参加した箱田良助は、忠敬の没後も伊能図完成に尽力している。箱田は後に御家人になり榎本姓を名乗るが、彼の次男が、かの榎本武揚である。

忠敬が各地を巡った旅は出会った人々に大きな触発をもたらしたに違いない。その結果、明治になると伊能図を源流とする地図が続々と刊行され、庶民も手にするようになった。三角測量の地図に完全に置き換わるまで、その影響は一世紀余も続いたのである。

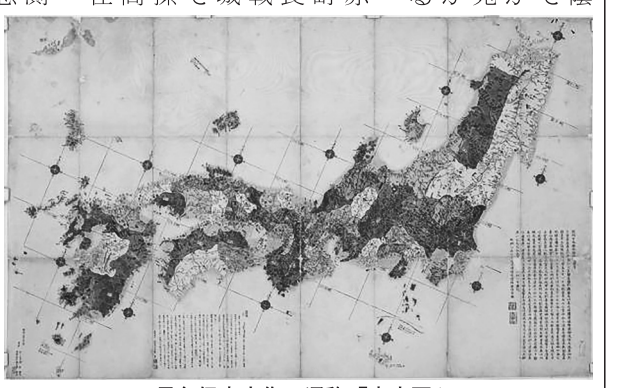
ところで、忠敬が日本全国を巡る際、常に携帯していた地図（赤水図）があったことをご存じだろうか。

水戸藩の儒学者、長久保赤水（１７１７～１８０１）が制作した「改正日本輿地路程全図」は、忠敬が測量を開始する20年前の安永８年（１７７９）に刊行されたものである。

この「赤水図」には経緯線がはいっており、町村名街道、社寺、大きな川なども描かれ、一里を一寸で表すなど、徒歩、駕籠、馬などで旅していた江戸時代の人々にとっては実に使い勝手のよい地図であった。かの吉田松陰も愛用していたことが彼の兄に宛てた手紙からも知れるのである。

長久保赤水は長泉町にあった長久保城（戦国時代）城主の末裔であり、子孫は茨城・高萩市に実在する。

第二次測量の際、忠敬が赤水の故郷、赤浜（高萩）を通ったのは享和元年８月３日、赤水死没の10日後であった。忠敬は「赤浜は赤水の出身地である」と測量日誌に記している。



長久保赤水作の通称「赤水図」

小窓

『台風への備え』

三建広報委員　村上　千明
㈱伊豆急ハウジング

台風は事前に備えが出来る災害ですが、台風が接近してからでは間に合わない対策も有ります。危険から身を守る為に普段からできる準備はしっかりと整えておきたい。

日本気象協会や気象庁の資料によると

一、家の外の被害に備える

・窓や雨戸は鍵をかけ、必要に応じて補強する。

・側溝や排水口を掃除して、水はけを良くしておく。

・風で飛ばされそうな物は固定したり、家の中へ入れる。

二、家の中の被害に備える

・飛散フィルムなどを窓ガラスに貼る。

・飛来物が飛んでくる場合に備え、カーテンやブラインドをおろしておく。

・断水に備え、水道水をポリタンク等に確保し、風呂にも水を張っておく。

・低地の家は床上の浸水対策をする（家財や家電などを二階等に移動させる）。

三、飲料水や非常食などを備蓄しておく

・食料、飲料、生活必需品の備蓄例として飲料水三日分（一日あたり一人約3リットル）、非常食三日分（アルファ米、ビスケット、板チョコ、乾パンなど）、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ライター、倒れにくいローソク、ロープ、布製の粘着テープ、紙袋、カセットコンロ、固形燃料など。

四、停電で冷蔵庫やエアコンが機能しない場合に備える

・台風による停電でエアコンや冷蔵庫が機能しなくなる恐れがある。冷蔵庫で保冷剤を用意しておけば、食料品の保全対策になり、窓を開けられない場合でも涼しく過ごす助けになる。涼む時は、首や脇を冷やすと効果的だとされる。保冷剤が無い場合は、ペットボトルで水を凍らせておくと良い。水が溶けたら、飲料水や生活用水としても使える。また原始的だが「うちわ」などがあると良い。風があるだけで過ごしやすくなる。

五、非常持ち出しバッグを準備しておく

・非常時に持ち出すべき物をリュックサックに詰め、枕元に置くなどしていつでもすぐ持ち出せるようにしておく。両手が使えるのでバッグはリュックサックが好ましい。地震などの他の災害時の備えにもなる。

・非常持ち出しバッグの内容例としては、飲料水、携帯食料品、貴重品（預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など）、携帯電話、携帯電話の充電器とバッテリー、救急用品、お薬手帳、ヘルメット、防災ずきん、マスク、軍手、筆記用具、マッチ、ライター、懐中電灯、電池、ビニール袋、衣類、雨具、タオル、携帯ラジオ、使い捨てカイロ、ウェットティッシュ、洗面用具、携帯トイレ、メガネ、コンタクト、幼児のいる家庭はミルク、紙おむつ、ほ乳ビンなど。

六、自宅や勤務先からの避難場所や避難経路を確認しておく

・防災マップやハザードマップ（災害予測図）を入手しておく。

七、安否確認の方法を家族で共有しておく

・日頃から安否確認の方法や集合場所などを話し合って決めておく。

八、台風が接近したら外出は控える

・大雨や暴風の恐れがあるので外出しない。

・用水路、川、海岸の見回りは絶対しない。

・屋外での作業は絶対しない。

九、命を守るため、早めの避難

・危険を感じたら早めに自主的避難をする。

・避難時には火の元、ガスの元栓、電気のブレーカーを落とし、戸締りを確認する。

―などである。

台風が近づいているというニュースや気象情報を見たり聞いたりしたら、災害への備えをもう一度確認したい。

９月８日夜から９日未明にかけて私の住んでいる伊豆半島東海岸の沖を非常に強い勢力を保ったままの台風15号が通過した。その後三浦半島を通過し東京湾を抜けて北東に進み、９日５時前には千葉県千葉市付近に上陸した。その後、茨城県水戸付近で海上に出た台風は、福島県や宮城県を暴風・強風域に巻き込みながら東進した。

台風が非常に強い勢力を保ったまま関東の至近距離まで接近するのは非常に珍しいとのこと。千葉市付近に上陸するときの勢力は中心気圧９６０ｈＰａ・最大風速40ｍ／ｓの勢力で、関東上陸時の勢力では過去最強クラスで、61年前伊豆半島狩野川流域を中心に関東地方まで死者不明者千人以上、家屋の全・半壊・流失約一万六千戸と大きな被害を与えた狩野川台風に匹敵する威力で『関東地方に半端ではない被害をもたらす恐れがある』との事前予想であった。

被害は関東一都六県、静岡県など広範囲に亘り家屋の損壊や交通網の寸断だけでなく、大規模な停電が発生し、ライフラインが麻痺した。

伊豆地区も激しい暴風雨に見舞われ、各所で崖崩れや倒木、建物の屋根が飛んだり、壁がはがれるなどの被害が発生。道路も倒木の為あちこち通行止めになったり、伊東線、伊豆急行線も約二日間不通になり交通網も大きく乱れた。また伊豆各地域で一時四万五千戸以上が停電するなど広い範囲で生活に支障をきたした。

我が家に於いては、建物自体はなんとか無事であったが、夜中１時位からの停電が二日間続いた。停電のため酷暑にもかかわらずエアコンや扇風機が使えず暑くて寝苦しい夜を過ごし、風呂もシャワーもだめ、テレビも携帯電話の充電もできず情報も得られない。伊東に生まれて61年、二日にも及ぶ停電は初めてだ。

電気に依存する今の社会、この二日間電気がなければ暮らせない現実を思い知らされたと共に電気のありがたさが身に染みて分かった。

今回の千葉県に於ける大規模停電、想定を超える台風災害にどう対応するか。また長期停電が生じた際、私たち自身が衣食住をいかに確保するのか新たな課題であろう。

「天災は忘れた頃にやってくる」。起きてしまった災害を忘れることなく日々の備えはしっかりしたい。

今回の台風15号により、お亡くなりになられた方のご冥福と、被害に遭われた方へ心からお見舞い申し上げると共に、一日も早く日常生活に戻ることが出来るよう願っております。

耐震用構造部材、現場省力化商品、鉄筋加工品など特色有る商品群

○ファブデッキ：耐震性、居住性抜群、重量物載荷でもひび割れ無しの構造床材
○ＦＢリング　：閉鎖型せん断補強筋、フラッシュバット溶接で施工性抜群！
○バーメッシュ：異形鉄筋溶接金網、図面で割り付け、現場は置くだけ！
○ＳＨＣ　　：熱間成形コラム、鉄本来の粘りを持った新発想の柱材・・・etc、詳しくは、当社営業までお問い合わせください。

ねじ１本からプラント用部材、
高層ビル用鉄骨材料まで
鉄の百貨店

柔軟な発想で鉄の未来をつくる

近藤鋼材株式会社

URL:http://www.kondo-kouzai.co.jp
メール:mail@kondo-kouzai.co.jp
沼津営業所　☎　〈055〉925―1900
　　FAX〈055〉925―1970
静岡営業所　☎　〈054〉256―1200
　　FAX〈054〉256―1220
伊豆営業所　☎　〈0558〉87―0500
　　FAX〈0558〉87―1000

●JIS工場からより良い製品をお届け致します。

静岡県東部生コンクリート販売協同組合

事務所　沼津市大岡517-4　鈴福ビル2F
電話〈055〉955-6600　FAX〈055〉955-6601

■組合員

㈱イワタ沼津工場
東宏生コンクリート工業株式会社
三島生コン㈱
㈲高田建材
㈱しょうじ建設函南生コン
小野建設株式会社 修善寺生コン工場
有限会社長岡生コンクリート
新スルガ生コン㈱
二葉建設㈱生コン部
静岡生コン㈱
野村マテリアルプロダクツ㈱伊豆さくら工場
裾野生コン㈱
渡邊工業株式会社 第一生コン工場
㈱タカムラ生コン
㈱古藤田生コン
㈱広川生コン

〝水〟と〝空気〟と〝環境〟の良い住い作りに
花のある快適な暮らしのお手伝いをします。

総合設備設計・施工
（沼津市三島市及び近隣市町指定工事店）

株式会社 大石設備 〝DAISETSU〟
代表取締役　大石　千鶴子
本社／沼津市大岡525-7 TEL〈055〉962-7216
FAX〈055〉963-4879
三島営／三島市錦ケ丘3-12 TEL〈055〉975-7928
E-mail:daisetsu-soumu@krf.biglobe.ne.jp

創業100年・最新技術・末永いサービス
省エネと生活環境の向上を提供

空調・給水・給湯・衛生・上下水道・防災設備・設計・施工

片野設備株式会社
代表取締役社長　片野彰一

ISO 9001 認証取得
〒411-0035 静岡県三島市大宮町 3-3-12　TEL 055-971-2205㈹　FAX 055-973-5246
E-mail : info@katanosetubi.co.jp　URL http://www.katanosetubi.co.jp